



女子100m予選で力走する福島千里(左端)＝3日、ロンドン(時事)

福島 挑戦道半ば

残り種目へ立て直し

ゴールした福島千里(24) 女子100m予選で11秒41 北海道ハitechAC帯 南商高出身は、大型モニタ ーに再現された自分のレー スをほろぜんと見詰めた。

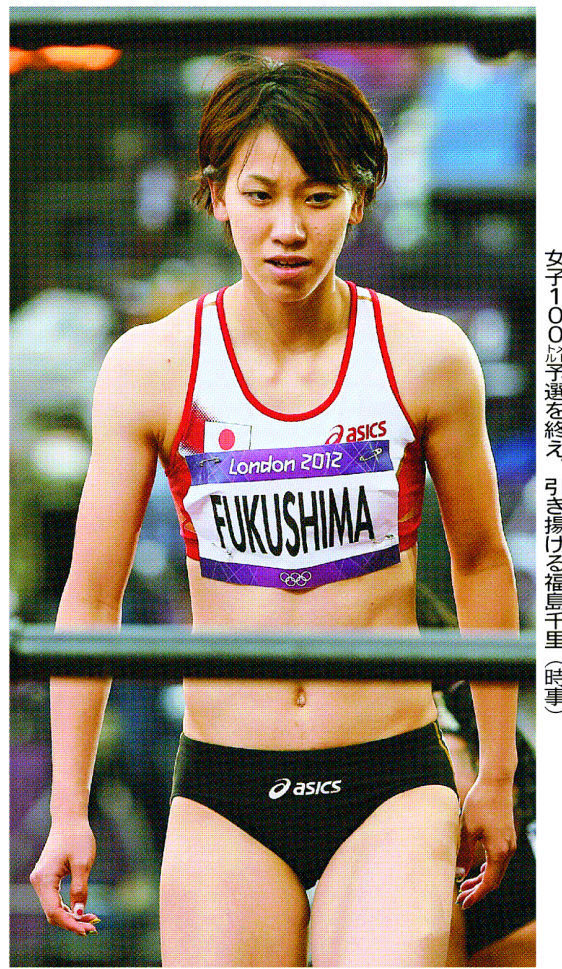
この競り合いで胸をぐっと 突き出し、5着に入ったの がせめても意地だろう。 3月の世界室内選手権60 秒準決勝をインフルエンザ で棄権。6月の日本選手権 前には腰を痛めるなど調子 が上がらず、今季の100 秒は11秒34が最高。「レ ース動が足りなかった。きよ の試合より、これまでの 過程を反省しないとけな い」。敗因は自分で分りな すぎるくらい分かっている。

涙の数だけ成長 中村監督と二人三脚

北京五輪に続き世界の強 豪とトラックを駆け抜けた 陸上女子100mの福島千 里選手。日本記録更新を期 待された4年間で数え切れ ない涙を流し、その分だけ 成長を重ねた。今回も同種 目に出場した福島選手。「未 知の部分が多い。楽しみ」 と中村監督。まな弟子との 二人三脚はこれからも続 いていく。(時事)

ちいちゃん 胸を張って 地元で 家族を 援

【ロンドン】「ちいちゃん、よく頑張った。胸を張っていい。陸上競技女子100m予選に、幕別町出身の福島千里選手が出場した。玲子さんは過した。2大会連続となる懸命な走りを見せた。五輪初の準決勝進出はならなかったものの、スタンドで観戦した父の輝幸さん(59)、母の玲子さん(53)、妹の香織さん(22)は惜しみなない拍手を送った。家族は6日夜(日本時間)帰国し、次の女子200m予選(同日未明)は日本から応援



女子100m予選を終え、引き揚げる福島千里(時事)

今夜のテレビ番組と あすの天気は12面掲載

か考えたい。必死に気持ち を切り替えた。(時事) 【女子】 100m予選(7組3 着まで)4着以下3人が準 決勝へ) 1組(1)ハブテイスト (トリニダード・トバゴ) 10秒96 2組(1)シーター(米 国) 10秒83 3組(1)キャンベル・ ブラウン(ジャマイカ) 10 秒94 4組(1)オカタバレンチ イシエリ(10秒93 5組(1)フレックス (米国) 11秒01)福島千里 (北海道ハitechAC帯 南商高出身) 11秒41)落選 以上追い風参考 6組(1)フレザー(ア ービス(ジャマイカ) 11秒00 7組(1)アウル(コ ートジボール) 10秒99

あったけれど、楽しそうな姿を見ていると、これも娘のためかなと思つたと振り返る。 帯南商高に進学し、親元を離れた後も、福島選手が 出場する大会のスタンドに は両親の姿があつた。7月 末から8月にかけて行われ るインターハイは小麦の収 穫時期と重なつたが、親類 に頭を下げて会場に駆け付 けた。3年の大会で100 秒で2位に終わり、福島選 手が「もう走らん。陸上を やめる」と初めて弱音をほ いたときも、優しく見守つ た。 この日、ロンドン五輪の トラックに現れた娘に、輝 幸さんは日の丸の小旗を振 つて大きな声援を送り、玲 子さんは祈るような動作で 心配そうに眺めた。玲子さ んは頭張れとは言えない。 いつも通り楽しく、悔いの ない走りを見せてくれれば と静かに話した。 長い期間をかけて準備し てきた努力が、わずか11秒 前後で終わる厳しい世界。 陸上を始めた当初は足の大きさが20センチ以下と小さく、両親はスパイクを探すため に、何軒もスポーツ用品店 を回つた。小柄だった少女 が日本代表として走り切る 姿に、輝幸さんは「二度も 五輪に連れて来てくれ、親 孝行者です。本当に幸せだ」と穏やかな笑みを浮かべた。(北雅貴)